

# 検査・食育だより

公益財団法人兵庫県スポーツ協会  
給食食育支援部(学校給食・食育支援センター)

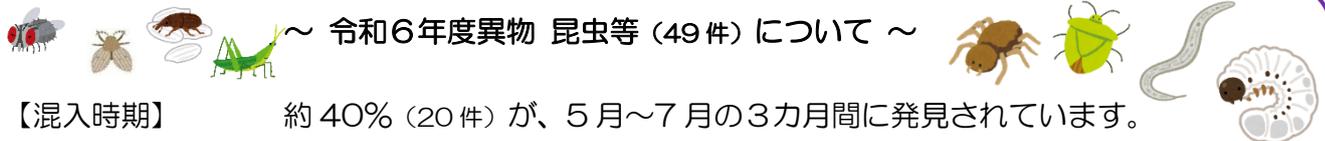
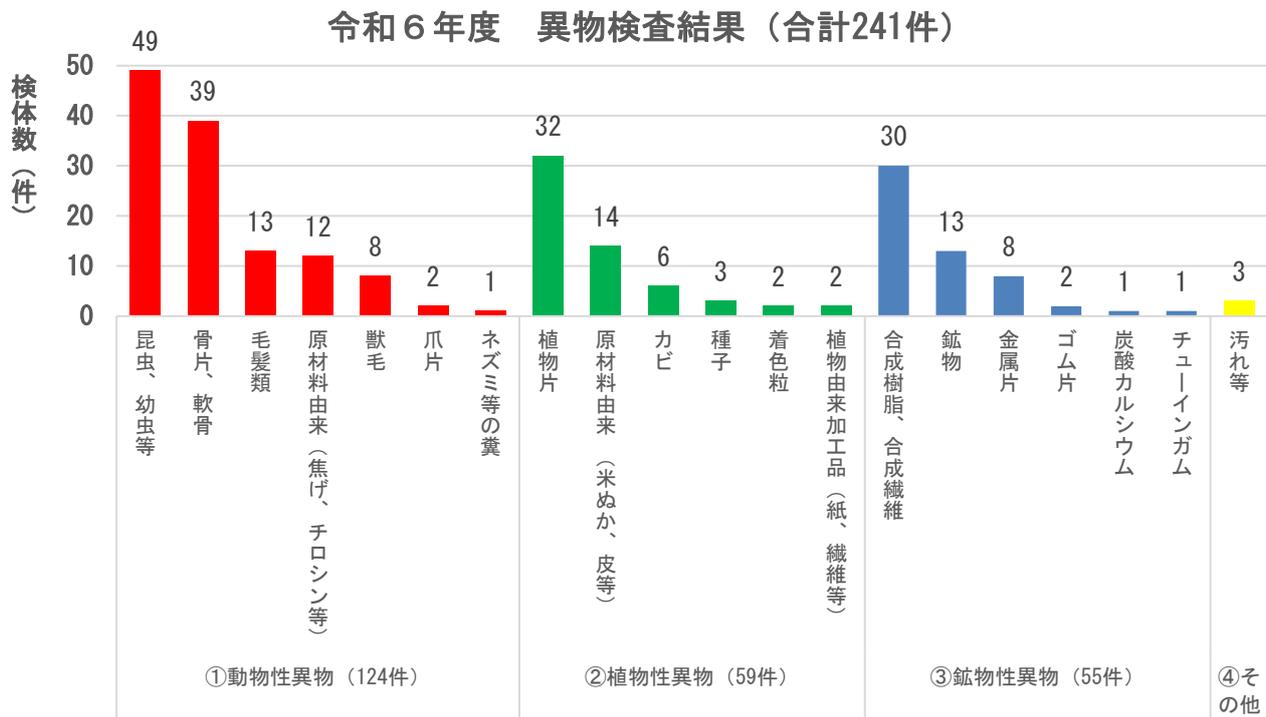
## 令和6年度(R6.4~R7.3) 異物検査結果について

学校給食・食育支援センターでは、市町教育委員会、学校、共同調理場等からの依頼を受けて、調理中、配膳中、喫食中等に発見された異物が何であるかを調べる異物検査を実施しています。

### 【市・町等から依頼を受けた異物検査】

令和6年4月から令和7年3月において、市・町等からの依頼により計241件の異物検査を実施しました。その結果、件数の多い異物TOP3は①昆虫、幼虫等49件(寄生虫3件含む)、②骨片、軟骨39件、③植物片32件でした。

また、原材料由来であると推測される異物(肉の筋や米ぬかなどの原材料だけではなく、野菜につく幼虫や魚につく寄生虫、肉の骨片などを含む)は128件で、全体の53%を占めていました。



### ～ 令和6年度異物 昆虫等 (49件) について ～

【混入時期】 約40%(20件)が、5月～7月の3カ月間に発見されています。

【大きさと主な種】 体長約3mm以下のコバエ、貯穀害虫、アブラムシなどが半数以上(約57%)を占め、体長約3～10mmのクモ、カメムシ、幼虫などが約27%、約10mm以上の寄生虫や大きな幼虫などは約16%でした。

【加熱の有無】 カタラーゼ試験(加熱の有無の試験)の結果は、陽性15件、微陽性3件、陰性22件、不明(殻、翅等のため検査不可)9件でした。全体の約37%が、加熱されていない可能性が高い(陽性および微陽性)と推測されました。

このように異物が何であるかを確認し、その混入のタイミングや過程を推測することにより、再発防止対策や衛生管理の向上に役立てることができます。

これから気温が上昇する1学期間は、特に昆虫等に対する混入防止対策が重要になります。